



2024年5月20日

各位

会社名 株式会社グローバル・リンク・マネジメント
代表者名 代表取締役社長 金 大仲
(コード番号：3486 東証プライム市場)
問合わせ先 経営企画部長 竹内 文弥
(TEL. 03-6821-5766)

日本経済新聞の「プラチナ企業ランキング」において 不動産業界で4位（全体95位）にランクイン

～人的資本経営を推進し、働きやすさ・働きがいの両立を目指す～

当社は、日本経済新聞が上場企業約2300社を対象に実施した企業調査（2024年5月7日に日本経済新聞で報道）で「働きやすさ」と「働きがい」が高い「プラチナ企業TOP100」に選出されました。当社は不動産業界^{※1}で4位、全体では95位にランクインしています。

※1：東証33業種区分で「不動産業」の企業内において



当社グループは、多様な社員一人ひとりがスキルを磨き活躍することが、唯一無二の価値創造や生産性の向上をもたらし、その結果が利益に還元される好循環の実現が経営方針を支える最も重要な要因であると考えています。

具体的な取り組みとして、「働きやすさ」の側面では、フレックス制度の導入や有休・育休の取得促進など社員のワーク・ライフ・バランスを考慮し、リモートワーク促進により働く場所に柔軟性を持たせています。職場の雰囲気についても、従業員調査では70.1%が「お互いの人を思いやる雰囲気がある」と回答しており、風通しの良さや人の良さが愛着感情に繋がっているとの結果が得られています。

また「働きがい」の側面では、公正な評価と成績優秀者の顕彰、チャレンジの推奨、仕事の裁量・自由度の確保、本人の意向を尊重したキャリア開発など、成長を後押しする取り組みを進めています。こうした取り組みをさらに推進するため、当社グループではこのほど、企業理念の「Value」に掲げた「No.1・挑戦・共創」を踏まえ、当社グループが求める人材像について経営会議で議論を重ね、「人材育成方針」および「社内環境整備方針」を策定しました。

各方針を推進することで、引き続き「働きやすさ」と「働きがい」の両立ができる「プラチナ企業」を目指してまいります。

【プラチナ企業 TOP100 ランキングの調査概要】

日本経済新聞が、企業分析を手掛ける株式会社クレジット・プライシング・コーポレーション（東京都中央区、以下「CPC」）の協力を得て作成したランキングです。企業情報のクチコミサイト「オープンワーク」に書き込まれた社員の投稿などから、上場企業を「働きやすさ」と「働きがい」の2軸で類型化し、業績との連動などが分析されています。

「働きがい・成長」「女性の働きやすさ」「ワーク・ライフ・バランス」の項目への書き込み件数が累計で20件以上ある上場企業、約2300社が調査対象となりました。

CPCが人工知能（AI）モデルを使って口コミがポジティブ（前向き）なのか、ネガティブ（後ろ向き）なのかを分類してスコア化し、企業ごとに働きがいと働きやすさのスコアを掛け合わせた数値をベースに順位付けしています。

出典：日本経済新聞「プラチナ企業 TOP100 御社やライバルはランクイン？」

(2024年5月7日掲載、会員限定記事)

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC1199M0R10C24A400000/>

【GLM 人材育成方針】

人材育成方針

**Value (No.1・挑戦・共創) を実現する
人材の育成を目指します**

当社は、「不動産を通じて豊かな社会を実現する」という企業理念のもと、
社員一人ひとりを、プロフェッショナルとして、主体的に挑戦し、
新しい価値を創り出せる人材に育成します。

社内環境整備方針

ウェルビーイングの実現に向けて 社内環境整備を積極的に行います



成長と育成

当社は、社員一人ひとりがプロフェッショナルであることを目指し、その成長機会を提供します。



挑戦への支援

当社は、スキルを向上させるため、キャリアの選択肢を広げ、挑戦への機会を提供します。



多様性の尊重

当社は、多様な価値観を尊重することにより、新しい価値を生み出す環境を整備します。



心理的安全性の確保

当社は、個々を受け入れ、対話をしながら、心理的安全性の高い環境を整備します。



働く環境の選択

当社は、社員の生産性・創造性・幸福感を向上させるため、多様な働く環境を整備します。



社員の健康保持

当社は、社員一人ひとりが心身ともに健康で、最大限の能力を発揮できる環境を整備します。